

第2回 企画委員会 議事概要

日 時：令和5年7月21日（金）10：00～12：00

場 所：2号館2階参与員室

出席者：委員5名 アドバイザー1名

<主な発言>

■ひょうごフィールドパビリオン専用 Web サイトについて

委員等

- ・面白そうと思ってもらう仕掛けや、プログラムの雰囲気伝えきれていないところに改善の余地がある。プレミア・プログラムを際立たせることを検討いただきたい。

委員等

- ・2025年日本国際博覧会に関連した特別な Web ページであることをきっちり示すべき。
- ・県の姉妹都市や交流リスト等をリンクに飛ぶことなく直接見られる仕様を検討すべき。

委員等

- ・Web サイトが誰に向けたものなのか不明。県民向けなのか国内外向けかが不透明。
- ・Web サイトへの誘導の仕組みが足りないと感じた。

委員等

- ・プログラムの磨き上げによる内容の変化や価値のブラッシュアップに応じて、Web サイトの掲載内容を柔軟に変えられるようお願いしたい。
- ・Web サイトのコンテンツを考える上では、プログラムの提供主体とのコミュニケーションをしっかりとって欲しい。

委員等

- ・ひょうごフィールドパビリオンは、新しいチャレンジであるとしてしっかり伝える工夫をお願いしたい。ターゲティングは最重要なので、それを踏まえて作り込んでいって欲しい。

■ひょうごフィールドパビリオン磨き上げ研修

委員等

- ・提供プログラムのセルフチェックを含めて、プレーヤー同士がどのように2025年に向けて進めていけばよいのかを話合う場が必要である。
- ・通訳等のテクニカルサポートができる人材発掘、プログラムの検討、ツアー化を行えるマネジメントサポートできる人材を発掘することがとても重要である。
- ・行政だけでなく民間発意でプロジェクトを提案し、官民がうまく連携をとって進めていくことにより、取り組みが県全体に広がっていく。

委員等

- ・ひょうごフィールドパビリオンは県主催であるが、県が引っ張るだけでなく、コラボの意

識をもって、繋がりを持てる活動というものを、他の人たちも見てみたいと訪れてもらうことの実現がフィールドパビリオンプロジェクトの目指すところ。

委員等

- ・アウトカムとなる磨き上げの対象は何なのか。体験価値が向上していくことではないかと思っている。
- ・いわゆるカスタマージャーニーのようなもののクオリティを上げていくことが磨き上げということではないかと思っている。
- ・セルフチェックシートの内容は議論が必要だ。

委員等

- ・来た人の目線よりも取り組んだ人たちの目線が実は大事だと思う。

委員等

- ・セルフチェックシートの項目は、JSTS-D という国際基準に基づいて項目を検討している。

委員等

- ・県の万博関連施策にも、国際博覧会との関連性についてうまく入れこんで欲しい。

委員等

- ・プレーヤーがネットワークを組めるような、双方向で情報交換できる場が必要だ。
- ・「Slack」のような、それぞれのグループで、繋がる情報共有の場をインターネット上であればと個人的には思う。
- ・プレミアにもパワーアップが必要。プレミア自体の磨き上げもケアしないといけない。
- ・ひょうごフィールドパビリオンは新しい取り組みなので進めながら検討していくものだ。走りながらと言ってもただこなすのではなく、しっかりと伴走型でサポートする体制で進めていって欲しい。

■兵庫県版テーマウィークについて

事務局

- ・6月上旬に博覧会協会よりテーマウィークの8つのテーマと、テーマ領域が公表された。テーマの開催時期は現在未定である。
- ・博覧会協会のテーマウィークと連動した県独自のテーマを設定し、テーマウィーク期間中にシンクロイベントを開催する。

委員等

- ・博覧会協会が設定した「学びと遊びウィーク」のテーマ領域には、若者自立やアントレプレナーシップが書かれている。「躍動する兵庫」というキーワードと関連して、皆がチャレンジする場の提供、人材の育成ということで県独自のテーマ設定ができるのではないか。

委員等

- ・博覧会協会のテーマウィーク期間中に関連した各省庁の事業が多数登録されるため、兵庫

県の事業が埋もれてしまい、アピールできない可能性がある。万博会場内の催事場で何をするのかという準備と、兵庫県内で何をするのかというのを2本立てで準備する必要がある。

- 博覧会協会のテーマに対して県版テーマとして県としての魅力や強み、クローズアップしたい事業を前面に押し出すようなテーマを設定すべき。
- テーマウィークにおける連携先として、大学、学術団体、学会の誘致が考えられる。
- 博覧会協会のテーマウィーク期間よりも、県版テーマウィークは長く時期を設定することも考えられる。

委員等

- 今の段階においては、県版テーマウィークの核となる、県としてクローズアップすべき事業は何かを考えていくことが重要である。

(以上)